

佐竹びじょん

秋深し・輝く秋田の食



農業県秋田を象徴する種苗交換会は、今年140回目を数え、由利本荘市を会場に10月31日から11月6日まで開催されます。

種苗交換会が終われば、いよいよ秋も深まり、間もない冬の到来を告げるお天気模様になってきます。

かつて外の行事が土の広場で行われた時代には、荒天の時は長靴を泥だらけにして会場を回ったものですが、近年は舗装されたところで行われ、気軽に見学に行けるようになりました。

また最近では、各市町村の多様なグルメコーナーや特産品コーナーも並び、農業関係者だけ

ではなく家族連れや若いアベックさんなど、県民の皆さんが各市町村の自慢の食を楽しめるグルメ交換会にもなってきました。

肝心の本県農業の主役の米作は、6月の低温や水害などにより少し思わしくない所もありますが、全体的にはまずまずの状況です。

初冬に向かい、幾分寂しさを感じる季節ですが、食いしん坊やお酒好きにとっては、新米のきりたんぼを肴に飲む秋田清酒に無上の喜びを感じる季節でもあります。

少し先のことですが、今年のハタハタの漁獲も気になり始める晩秋です。

